

外国語公開研究会を終えて

昨日は本当に寒かったですね。校長室から校庭に通じる外階段にも氷が張っていました。寒い日は自家用車での通勤にもいつも以上に気を使います。**1割のスピードダウン、2倍の車間距離、3分早めの出勤でお互いに安全運転に心掛けましょう。**

昨日は附属校園連合 PTA の方々の企画で見上学長のお話を伺う会がありました。宮城教育大学で研究されてきたこと、そして附属に期待することを中心に約1時間お話をしてくださいました。学長がこのような保護者の方にお話をしたり会食会に参加したりするところはすごく少ないようで、参加された保護者の方々にも大変好評を得ていました（学長には先週金曜日の夜の懇親会にも参加していただきました。本当にありがたいですね）。

また、先週の土曜日は上杉中学校の創立70周年記念式典が行われました。入学式の時にも感じたのですが、生徒も皆さんの挨拶のよさ、歌声の素晴らしさ、そして儀式での気品のある態度には感心させられました。また、生徒の皆さんが作成した『築き上げた70年 まだ、進化は止まらない』をスローガンに70年の記録を映像で紹介していただきました。学校の歴史とともに地域の方々の上杉中への深い愛着を感じることができました。

さて、先週の金曜日に3年間の外国語教育強化地域拠点事業の公開研究会が関係各位の協力を得て無事終了しました。授業を提案していただいた先生方、2コマに関わっていただいたエリザ先生、立古先生はじめ運営委員の先生方本当にお疲れ様でした。本校の授業づくりの特色は英語の授業であっても担任が授業構想をつくること、そして、その時間の学習課題提示から振り返りまできちんと行うことにあります。また、英語の時間での「学び方」を全校で大事にしていることも大きな特色です。先生方が作成した学習環境や指導案が今後小学校英語教育のパイオニアとしてスタンダードになっていき、今回提案した意義は10年後いや20年後振り返ってみたときに、「当時の先生方の先進性やアイデアはすごい！」と評価されるのではないかと思います。前回は触れましたが、10年以上前になりますが、本校で「外国語」に初めて取り組んだ時は、総合の国際理解の分野であり、異文化理解が目的であったように思います。その中には「スペイン語」や「韓国語」などにも果敢にチャレンジしたことも今はよき思い出です。夜の慰労会には附属中はもちろん高校の先生方も多数参加していただき、これもまた今までにはなかったことでした。

小学校では今週は「早期退庁週間」。やらなければならないことはたくさんありますが、学年で声がけて、今週はどうか早く退勤できるようにしていきましょう。

(文責：副校長 手代木)